

アーランドサカモト向け



iTERAN／AE
業務マニュアル

【 第 1.4 版 】

2025 年 9 月 10 日

富士通 Japan 株式会社

目次	
1. はじめに	1
2. 業務の流れ	2
2-1. 日次・月次業務	2
2-1-1. 日次業務の流れ	2
2-1-2. 月次業務の流れ	3
2-2. 各業務の流れ	4
2-2-1. 受注・出荷業務の流れ	4
2-2-2. 受領業務の流れ	6
2-2-3. 支払業務の流れ	7
3. 画面・帳票遷移図	8
4. データ受信画面	10
5. 受注一覧画面	12
※ 出荷送信済データを再送する場合（オンライン受信データ）	14
※ 出荷送信済データを再送する場合（電話受注入力画面作成、受注ファイル入力データ）	16
6. 伝票別数量訂正画面	21
※ 伝票別数量訂正画面の色について	22
7. 商品別数量訂正画面	24
8. 電話受注入力画面	25
9. 出荷確定画面	31
10. 出荷送信画面	32
11. プルーフリスト出力画面	33
12. ピッキングリスト出力画面	34
13. 納品リスト出力画面	35
14. 受注データファイル入力画面	37
15. 受注データファイル出力画面	38
16. 出荷確定データファイル入力画面	39
17. 出荷確定データファイル出力画面	40
18. 受領一覧画面	41
19. 受領差異一覧画面	43
20. 各種帳票出力画面	45
21. 受領データファイル出力画面	46
22. 支払一覧画面	47
23. 支払リスト出力画面	49
24. 支払データファイル出力画面	50

1. はじめに

本マニュアルには iTERAN／AE の操作方法を記載しています。

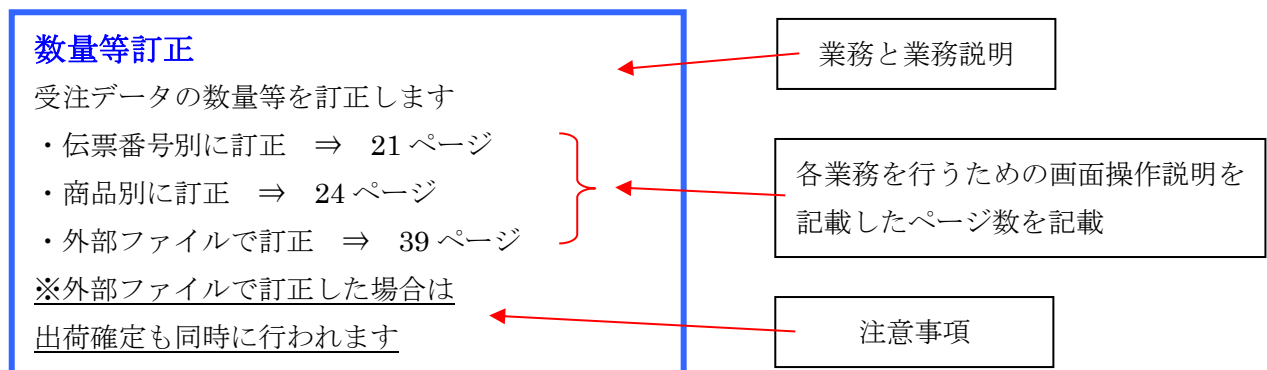
iTERAN／AE のインストール、初期設定等については別紙「かんたんセットアップガイド」をご参照ください。

本書では Windows10 の画面例を記載しています。Windows11 では動作が若干異なる場合があります。

◆業務マニュアルの使い方

本マニュアルは「業務の流れ」と「各画面説明」の2つの構成となっています。業務の流れを「2. 業務の流れ」でご確認いただき、それぞれの操作方法、表示項目等は「4. データ受信」以降の該当ページをご参照ください。

- ・業務の流れの見方は以下のようになっています。



2. 業務の流れ

2－1. 日次・月次業務

2－1－1. 日次業務の流れ

データ受信業務

1. インターネット経由（オンライン）で受注／受領データの受信をします

◆受注・出荷業務の流れ ⇒ 4 ページ

◆受領業務の流れ ⇒ 6 ページ



受注・出荷業務業務

1. 画面、または受信プルーフリスト・各種ピッキングリストにて受注データの確認をします

2. 数量等の訂正がある場合は訂正をします

3. 伝票等の納品リストを出力します

4. 出荷データの確定／送信を行います。

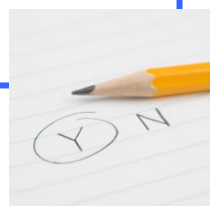
◆受注・出荷業務の流れ ⇒ 4 ページ



受領業務

1. 画面または受信プルーフリストにて受領データの確認をします

◆受領業務の流れ ⇒ 6 ページ



2-1-2. 月次業務の流れ

データ受信業務

1. インターネット経由（オンライン）で支払データの受信をします
※受注／出荷／受領データの処理に関しては、日次業務になります

◆支払業務の流れ ⇒ 7 ページ



支払業務

1. 画面または支払明細リストにて、支払データの確認をします

◆支払業務の流れ ⇒ 7 ページ



各種設定業務

1. パフォーマンス維持のため、定期的に不要になった過去データの削除をします
※指定した期間より過去のデータを削除することができます（各種マスタは削除されません）

◆過去データ削除方法

⇒ 別紙「共通機能マニュアル」内、

「各種設定業務 操作方法 データ整理設定」をご参照ください



2－2．各業務の流れ

2－1－1．受注・出荷業務の流れ

オンライン受注データの受信

インターネット経由で
受注データの受信をします
⇒ 10 ページ



電話／FAX 受注データの入力

オンライン以外（電話／FAX）の
受注データの入力をします

- ・画面から入力 ⇒ 25 ページ
- ・外部ファイルで入力 ⇒ 39 ページ

画面、各種帳票にて受注データの確認

画面、または受信プルーフリストにて、受注データの確認をします

※ 必要があれば、受注データを外部ファイルに出力します

- ・画面で確認 ⇒ 12 ページ
- ・受信プルーフリスト出力 ⇒ 33 ページ
- ・受注データの外部ファイル出力 ⇒ 38 ページ



数量等訂正

受注データを必要に応じて数量等を訂正します

- ・伝票番号別に訂正 ⇒ 21 ページ
- ・商品別に訂正 ⇒ 24 ページ
- ・外部ファイルで訂正 ⇒ 39 ページ

※外部ファイルで訂正した場合は出荷確定も同時に行われます

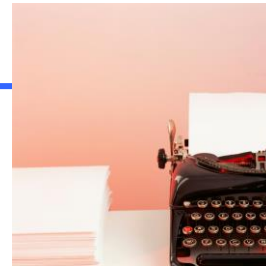
各種ピッキングリストの出力

各種ピッキングリストを出力します
⇒ 34 ページ

納品用リストの出力

仕入伝票、納品明細書を出力します

⇒ 35 ページ



出荷データの確定

出荷データの確定をします

※必要があれば、出荷確定データを外部ファイルに出力します

- ・画面から出荷確定 ⇒ 31 ページ
- ・外部ファイルで出荷確定 ⇒ 39 ページ
- ・出荷確定データの外部ファイル出力 ⇒ 40 ページ



出荷データの送信

出荷確定したデータの送信をします

⇒ 31 ページ



帳票にて出荷送信データの確認

送信プルーフリストにて出荷送信データの確認をします

- ・送信プルーフリストで確認 ⇒ 33 ページ



2－1－2．受領業務の流れ

オンラインで受領データの受信

インターネット経由で受領データの受信をします

⇒ 10 ページ



画面、各種帳票にて受領データの確認

画面または帳票にて、受領データを確認します

※必要があれば、受領データを外部ファイルに出力します

- ・受領データを画面で確認 ⇒ 41 ページ
- ・各種帳票出力 ⇒ 45 ページ
- ・受領データの外部ファイル出力 ⇒ 46 ページ



画面、各種帳票にて出荷・受領差異の確認

出荷送信済データ、受領データの差異を画面で確認します

- ・画面で確認 ⇒ 43 ページ



2－1－3．支払業務の流れ

オンラインで支払データの受信

インターネット経由で支払データの受信をします

⇒ 10 ページ

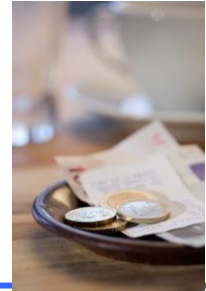


画面、各種帳票にて支払データの確認

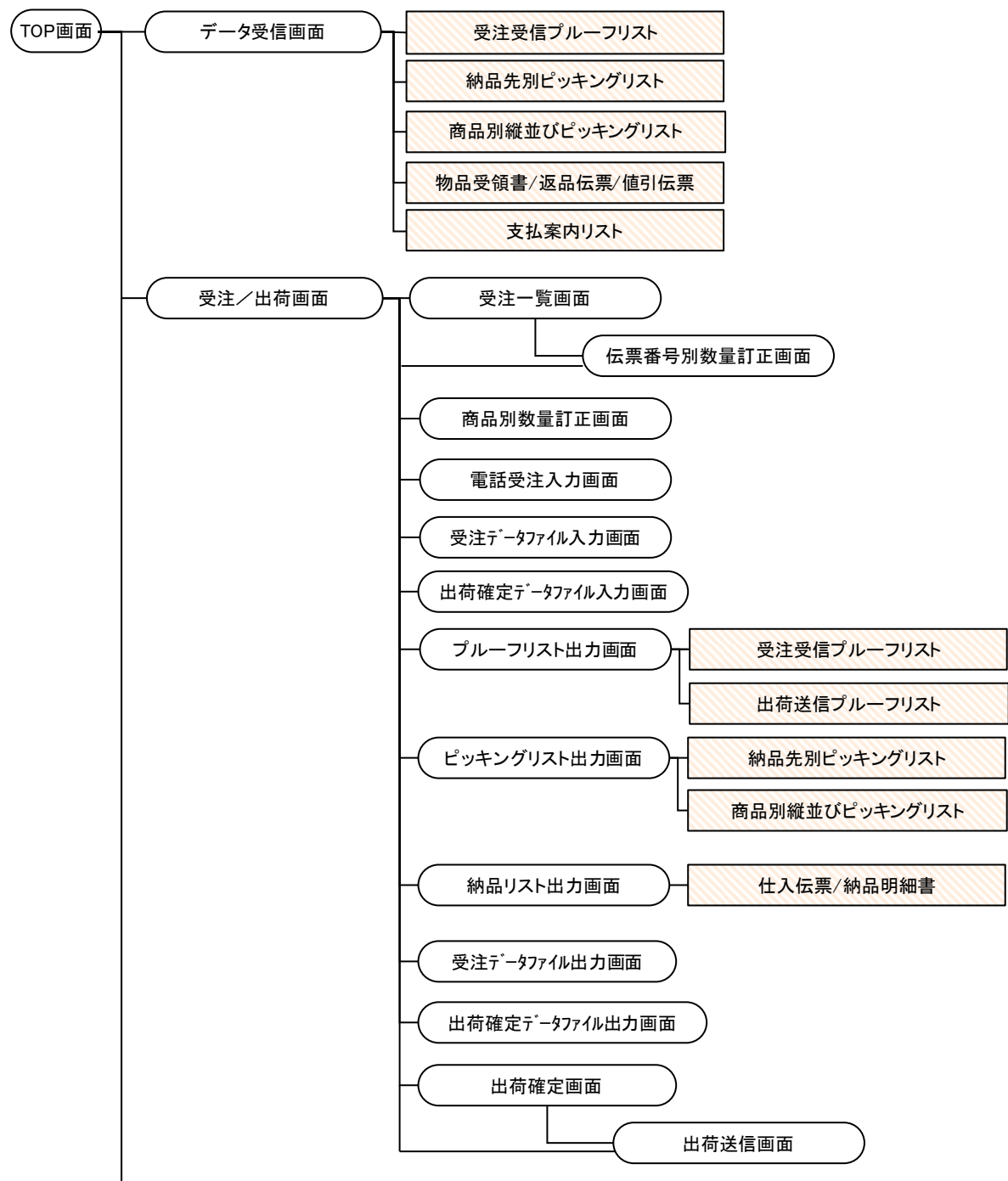
画面、または支払リストにて、支払データの確認をします

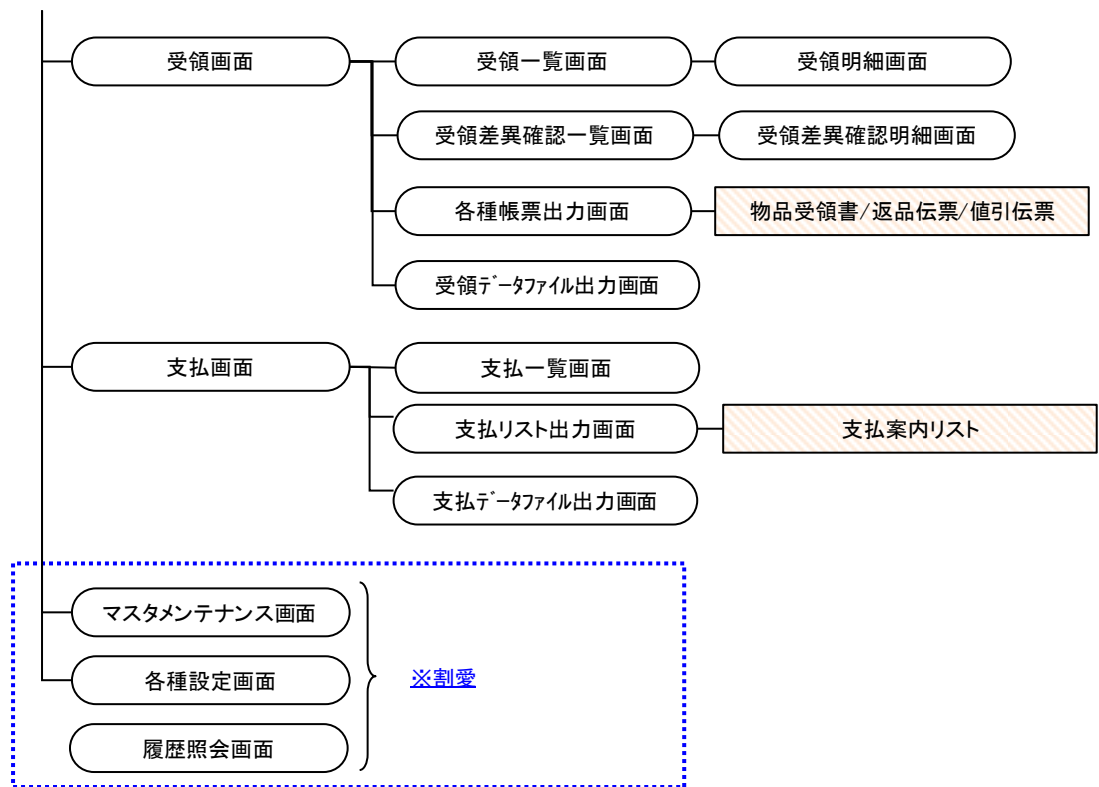
※必要があれば、支払データを外部ファイルに出力します

- ・画面で確認 ⇒ 47 ページ
- ・支払リストを出力 ⇒ 49 ページ
- ・支払データの外部ファイル出力 ⇒ 50 ページ



3. 画面・帳票遷移図





4. データ受信画面

受注/受領/支払データの受信を行います。

◆データ受信画面表示方法 [TOP]画面⇒[データ受信]

④『閉じる』ボタンを押し、データ受信結果画面を閉じます

①受信と同時に出力する帳票を選択します

②『受信開始』ボタンを押します

・データ受信結果画面（正常受信時）

【注意】
受領データの中には同一伝票データに対する訂正データが含まれていることがあるため、iTERANに保存された件数と当データ受信結果画面の格納件数が異なることがあります。
※訂正データは旧データを上書きして保存するため。

データ種	通信バイト数	格納伝票件数	格納明細件数	エラー明細件数	結果	詳細
受注	14832 Byte	3	27	0	正常	正常
支払	7411 Byte	21	21	0	正常	正常
受領	105920 Byte	20	180	0	正常	正常

③受信結果を確認します

・データ受信結果画面（エラー発生時）

エラーが発生しています

【注意】
受領データの中には同一伝票データに対する訂正データが含まれていることがあるため、iTERANに保存された件数と当データ受信結果画面の格納件数が異なることがあります。
※訂正データは旧データを上書きして保存するため。

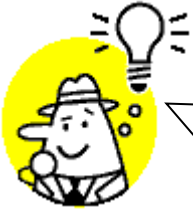
データ種	通信バイト数	格納伝票件数	格納明細件数	エラー明細件数	結果	詳細
受注	14832 Byte	0	0	27	全件エラー	既に受信されたファイルです
支払	7411 Byte	0	0	21	全件エラー	既に受信されたファイルです
受領	105920 Byte	0	0	180	全件エラー	既に受信されたファイルです

③' エラー内容を確認します

④' 『閉じる』ボタンを押し、データ受信結果画面を閉じます

【操作詳細】

- ① 受信と同時に出力する帳票を選択します。
- ② 出力帳票の指定が終わったら、『受信開始』ボタンを押すことで受信が開始されます。
- ③ /③' [データ受信結果]画面にて、受信結果を確認します。
- ④ /④' 『閉じる』ボタンを押して、[データ受信結果]画面を閉じます。



★ワンポイントアドバイス①★

『受信開始』ボタンによって、受注/受領/支払データ全ての受信を行います。
※データ種毎の受信を行うことはできません。

★ワンポイントアドバイス②★

「出力帳票」で『受注受信プルーフリスト』等の帳票を選択して受信を開始すると、受信完了後、選択した帳票が自動的に印刷されます。

★注意①★

受信したデータの一部にエラーがあった場合は、正常なデータのみを格納します。
※正常なデータ（格納したデータ）件数は、[データ受信結果]画面の「格納伝票」にて確認することができます。

★注意②★

受領データの中には同一伝票データに対する訂正データが含まれていることがあります。
該当データは旧データを上書きする形で処理されるため、受信結果の件数と iTERAN への格納件数が異なることがあります。
※訂正対象の旧データは破棄されます。



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

5. 受注一覧画面

オンライン受信した受注データを一覧で確認し、詳細画面で数量の訂正を行います。

◆受注一覧画面表示方法 [受注/出荷]⇒[受注一覧]

①表示対象の「納品指定日」を入力します

②『検索』ボタンを押します

③『詳細』ボタンを押し、数量訂正画面を開きます

詳細	納品指定日	発注日	企業コード	納品店舗	梱包店舗	伝票番号	数量合計	原価金額合計	受注作成元	状況
詳細	20191001	20190930	0001	1001テストセンター1	2001テストセンター1	10000001	820	293,200	0:オンライン受信	0:未確定
詳細	20191001	20190930	0001	1001テストセンター1	2001テストセンター1	10000003	820	293,200	0:オンライン受信	0:未確定
詳細	20191001	20190930	0002	2001テストセンター1	2001テストセンター1	10000002	820	293,200	0:オンライン受信	0:未確定

⑤『保存』ボタンを押します

⑥『閉じる』ボタンを押し、受注一覧画面に戻ります

④「出荷数量」を訂正します

企業コード	納品店舗コード	梱包店舗コード	発注No	便区分	納品区分	指定納品時刻	取引先コード
0001	1001	2001	90000001	01	02:店別納品	13:20:00	11111111
アーケラント/サカトKK	テストセンター1	テストセンター1					テストセンター1
部門コード	発注日	納品指定日	特売区分	発注区分	伝票区分	税率	摘要
0013	20190930	20191001	03:特売	05:要望発注	01:発注仕入		
				02:原価外税売価内税		10.0	テストセンター

商品コード	JANコード	商品名 (下段)	行	商品分類(小)	入数	発注数	検品区分	発注数量	欠品数量	原単価	出荷原価金額		
1100001	04904781160001	999M 001	01	0001	1	200	01:バラ	200.0	0.0	100.25	20,050		
テストジョウビン001								200.0		200	40,000		
1100002	04904781160002	999M 002	02	0002	2	60	01:バラ	120.0	0.0	200.50	24,060		
テストジョウビン002								120.0		300	36,000		
1100003	04904781160003	999M 003	03	0003	5	30	01:バラ	150.0	0.0	300.00	45,000		
テストジョウビン003								150.0		400	60,000		
1100004	04904781160004	999M 004	04	0004	1	100	01:バラ	100.0	0.0	400.25	40,025		
テストジョウビン004								100.0		500	50,000		
1100005	04904781160005	999M 005	05	0005	1	60	01:バラ	60.0	0.0	500.50	30,030		
テストジョウビン005								60.0		600	36,000		
1100006	04904781160006	999M 006	06	0006	1	80	01:バラ	80.0	0.0	600.00	48,000		
テストジョウビン006								80.0		700	56,000		
出荷数量合計					820	出荷原価金額合計					293,200	出荷売価金額合計	375,000

【操作詳細】

- ① 「対象期間」に表示対象の「納品指定日」を入力します。
- ② 『検索』ボタンを押すことで、「受注一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます。
- ③ 『詳細』ボタンを押して、伝票別数量訂正画面を開きます。
- ④ 「出荷数量」の訂正を行います。
- ⑤ 訂正が完了したら、『保存』ボタンを押すことで訂正を確定します。
- ⑥ 『閉じる』ボタンを押し、受注一覧画面に戻ります。



★ワンポイントアドバイス①★

「対象期間」の左のコンボボックスのみ指定することで“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。
※同様に右側のみ指定することもできます。

★ワンポイントアドバイス②★

「絞込条件」を指定すると条件に合ったデータだけが「受注一覧」に表示されます。

★注意①★

『絞込条件』に表示されるデータは『受注一覧』に表示されているデータの中からしか選択できません。

★注意②★

「出荷確定済」伝票番号を選択して訂正すると出荷確定が解除され「出荷未確定」状態に戻るのをご注意ください。

※「出荷送信済」伝票の場合も「出荷未確定」の状態に戻ります。

※ピッキングリスト等の帳票も「未発行」の状態に戻ります。



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

※ 出荷送信済データを再送する場合（オンライン受信データ）

オンライン受信した受注データの出荷送信済データを再送信する必要がある場合、受注一覧画面で対象のデータを検索後、訂正を行います。

訂正後は通常の出荷送信時と同様、出荷確定画面で出荷確定を行い、出荷送信を行います。

※ 1項目以上を訂正しないと再送信できません。

◆受注一覧画面表示方法 [受注/出荷]⇒[受注一覧]

①表示対象の「納品指定日」を入力します

②『検索』ボタンを押します

③『2:送信済』を選択します

④『詳細』ボタンを押し、数量訂正画面を開きます

詳細	納品指定日	発注日	企業コード	納品店舗	梱包店舗	伝票番号	数量合計	原価金額	メーカー作成元	状況
詳細	20191001	20190930	0001	1001テストセンター1	2001テストセンター1	10000001	820		オンライン受信	2:送信済

⑤「出荷数量」等を訂正します

⑥『保存』ボタンを押します

⑦『閉じる』ボタンを押し、受注一覧画面に戻ります

伝票キー項目	伝票番号
伝票キー項目	10000001

企業コード	納品店舗コード	梱包店舗コード	発注No	便区分	納品区分	指定納品時刻	取引先コード
0001	1001	2001	90000001	01	02店別納品	13:20:00	1111111
アーケラントサカトKK	テストセンター1	テストセンター1					テストセンター1
部門コード	発注日	納品指定日	特売区分	発注区分	伝票区分	税率	摘要
0013	20190930	20191001	03特売	05要発注	01発注仕入		
				02原価外税売価内税		10.0	テストセンター1

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	商品分類(小)	入数	発注入数	検品区分	発注数量	欠品数量	原単価	出荷原価金額
1100001	04904781160001	999M 001	01	0001	1	200 01/バラ		200.0	0.0	100.25	20,050
テストジョウビン001								200.0		200	40,000
1100002	04904781160002	999M 002	02	0002	2	60 01/バラ		120.0	0.0	200.50	24,060
テストジョウビン002								120.0		300	36,000
1100003	04904781160003	999M 003	03	0003	5	80 01/バラ		150.0	0.0	300.00	45,000
テストジョウビン003								150.0		400	60,000
1100004	04904781160004	999M 004	04	0004		00 01/バラ		100.0	0.0	400.25	40,025
テストジョウビン004								100.0		500	50,000
1100005	04904781160005	999M 005	05	0005		10 01/バラ		60.0	0.0	500.50	30,030
テストジョウビン005								60.0		600	36,000
1100006	04904781160006	999M 006	06	0006	1	80 01/バラ		80.0	0.0	600.00	48,000
テストジョウビン006								80.0		700	56,000
出荷数量合計 820 出荷原価金額合計 293,200 出荷売価金額合計 375,000											

【操作詳細】

- ① 「対象期間」に表示対象の「納品指定日」を入力します。
 - ② 『検索』ボタンを押すことで、「受注一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます。
 - ③ 「状況」で「2：送信済」を選択します。
 - ④ 『詳細』ボタンを押して、伝票別数量訂正画面を開きます。
 - ⑤ 「出荷数量」等の訂正を行います。
 - ⑥ 訂正が完了したら、『保存』ボタンを押すことで訂正を確定します。
 - ⑦ 『閉じる』ボタンを押し、受注一覧画面に戻ります。
- 以降の手順は通常の出荷送信時と同様、出荷確定画面で出荷確定を行い、出荷送信を行います。

※ 出荷送信済データを再送する場合（電話受注入力画面作成、受注ファイル入力データ）

電話受注入力画面で作成、また受注ファイル入力を行った受注データの出荷送信済データを再送信する必要がある場合、受注一覧画面で対象のデータを検索後、訂正、もしくは削除後再作成を行います。

訂正、再作成後は通常の出荷送信時と同様、出荷確定画面で出荷確定を行い、出荷送信を行います。

※訂正は一部項目しか行えないため、訂正不可項目を変更する必要がある場合は削除を行う必要があります。

※受注ファイル入力を行った受注データは訂正不可となりますので、削除後に再作成を行う必要があります。

◆受注一覧画面表示方法 [受注/出荷]⇒[受注一覧]

★訂正を行う場合

①表示対象の「納品指定日」を入力します

②『検索』ボタンを押します

③『2:送信済』を選択します

④『詳細』ボタンを押し、数量訂正画面を開きます

詳細	納品指定日	発注日	企業コード	納品店舗	梱包店舗	伝票番号	数量合計	原価金額合計	再作成元	状況
詳細	20191001	20190930	0001	2001テストデポ1	1001テストセンター1	10000014	10		電話受注入力画面	2:送信済

⑤「出荷数量」等を訂正します

⑥『保存』ボタンを押します

⑦『閉じる』ボタンを押し、受注一覧画面に戻ります

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	商品分類(小)	出荷数量	原単価	出荷原価金額	削除
1100001	04904781160001	999M 001	01			100.25	1,002	削除
テストジョウビン001					10.0	200	2,000	削除

出荷数量合計 10 出荷原価金額合計 1,002 出荷売価金額合計 2,000

【操作詳細】

- ① 「対象期間」に表示対象の「納品指定日」を入力します。
- ② 『検索』ボタンを押すことで、「受注一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます。
- ③ 「状況」で「2：送信済」を選択します。
- ④ 『詳細』ボタンを押して、詳細画面を開きます。
- ⑤ 「出荷数量」の訂正を行います。
- ⑥ 訂正が完了したら、『保存』ボタンを押すことで訂正を確定します。
- ⑦ 『閉じる』ボタンを押し、受注一覧画面に戻ります。

以降の手順は通常の出荷送信時と同様、出荷確定画面で出荷確定を行い、出荷送信を行います。

★削除後、再作成を行う場合

受注一覧

①表示対象の「納品指定日」を入力します

②『検索』ボタンを押します

③『2:送信済』を選択します

④『詳細』ボタンを押し、数量訂正画面を開きます

詳細	納品指定日	発注日	企業コード	納品店舗	梱包店舗	伝票番号	数量合計	原価金額合計	作成元	状況
詳細	20191001	20190930	0001	2001テストセンター1	1001テストセンター1	10000014	10		電話受注入力	2:送信済

電話受注入力

取消(F9)

⑤『取消』ボタンを押します

伝票キー項目
伝票番号 10000014 企業 000 納品指定日 20191001

取引情報

梱包店舗コード	梱包店舗名	部門コード	発注日	特売区分	税区分	税率	摘要
1001	テストセンター1	1234	20190930	常	02:原価外税売価	10	

取引明細情報

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	商	商(小)	出荷数量	原単価	出荷原価金額	削除
1100001	04904781160001	999M 001	01			10.0	100.25	1,002	削除
テストジョウビン001							200	2,000	削除

出荷数量合計 10 出荷原価金額合計 1,002 出荷売価金額合計 2,000

電話受注入力

変更(F3) 削除(F8) 開じる(F12)

伝票キー項目
伝票番号 10000014

納品店舗 2001 納品指定日 20191001

取引情報

棚卸店舗コード	棚卸店舗名	部門コード	発注日	特売区分	税区分	税率	摘要

取引明細情報

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	商品分類(小)	出荷数量	原単価	出荷原価金額	削除

出荷数量合計 0 出荷原価金額合計 0 出荷売価金額合計 0

電話受注入力

保存(F4) 取消(F9) 開じる(F12)

伝票キー項目
伝票番号 10000014

納品店舗 2001 納品指定日 20191001

取引情報

棚卸店舗コード	棚卸店舗名	部門コード	発注日	特売区分	税区分	税率	摘要
1001							
1234	20190930		01:通常				
				02:原価外税売価内税		10	

取引明細情報

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	商品分類(小)	出荷数量	原単価	出荷原価金額	削除
1100001	04904781160001	999M 001	01			100.25	1.002	
テストジョウビン001					10.0	200	2.000	削除

出荷数量合計 10 出荷原価金額合計 1.002 出荷売価金額合計 2.000

【操作詳細】

- ① 「対象期間」に表示対象の「納品指定日」を入力します。
- ② 『検索』ボタンを押すことで、「受注一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます。
- ③ 「状況」で「2：送信済」を選択します。
- ④ 『詳細』ボタンを押して、電話受注入力画面を開きます。
- ⑤ 『取消』ボタンを押して『削除』ボタンを表示させます。
- ⑥ 『削除』ボタンを押して削除対象の伝票情報を表示させます。
- ⑦ 『保存』ボタンを押して削除を確定します。

以降の手順は通常通り、電話受注入力画面でデータを再作成、受注ファイル入力画面から再度ファイル入力を行い、出荷送信を行ってください。



★ワンポイントアドバイス★

以下の全てのデータについて、出荷再送信をする場合は受注一覧画面から操作を行う必要があります。（他画面からは操作できません。）

- ・データ受信画面で受信した受注データ
- ・電話受注画面で登録した受注データ
- ・受注データファイル入力画面で登録した受注データ

★注意★

出荷再送信する場合は1項目以上を訂正する必要があります。



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

6. 伝票別数量訂正画面

伝票番号別に数量の訂正を行います。

◆伝票番号別数量訂正画面表示方法 [受注/出荷]⇒[伝票番号別数量訂正]

【操作詳細】

- ① 「伝票番号」コンボボックスで訂正対象の伝票番号を入力・選択します。
- ② 「出荷数量」の訂正を行います。
- ③ 訂正が完了したら、『保存』ボタンを押すことで訂正を確定します。



★ワンポイントアドバイス★

「伝票番号絞込条件」を指定すると、条件にあった伝票番号だけが「伝票番号」コンボボックスに出てくるようになります。

★注意★

「出荷確定済」伝票番号を選択して訂正すると出荷確定が解除され「出荷未確定」の状態に戻るのをご注意ください。
※ピッキングリスト等の帳票も「未発行」の状態に戻ります。



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

※ 伝票別数量訂正画面の色について

伝票別数量訂正画面は表示データの状態によってそれぞれ以下のように色が変わります。

◆ 「出荷未送信」「出荷確定済」「出荷送信済」状態の画面表示

- ・「出荷未送信」状態：赤枠で囲った明細部分に青色の線が入ります。

伝票番号別数量訂正

伝票キー項目
伝票番号: 10000002

伝票番号紐付条件
企業コード: [] 納品店舗: [] 梱包店舗: [] 納品指定日: [] 状況: 0未確定

取引情報

企業コード	納品店舗コード	梱包店舗コード	発注No	便区分	納品区分	指定納品時刻	取引先コード
企業名	納品店舗名	梱包店舗名					取引先名
0002	2001	2001	90000002	01	00無指定	13:20:00	1111111
アーランドサカタKK	テストラボ*1	テストラボ*1					テストラボサキ1
部門コード	発注日	納品指定日	特売区分	発注区分	伝票区分	税率	摘要
0013	20190930	20191001	03特売	02店発注	01発注仕入		
				02原価外税売価内税	8.0	テストラボ	

取引明細情報

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	商品分類(小)	入数	発注入数	検品区分	発注数量	欠品数量	原単価	出荷原価金額		
1100001	04904781160001	999M 001	01	XA0000001	1	200	01バラ	200.0	0.0	100.25	20,050		
テストラボ001			0001					200.0		200	40,000		
1100002	04904781160002	999M 002	02	XA0000002	2	60	01バラ	120.0	0.0	200.50	24,060		
テストラボ002			0002					120.0		300	36,000		
1100003	04904781160003	999M 003	03	XA0000003	5	30	01バラ	150.0	0.0	300.00	45,000		
テストラボ003			0003					150.0		400	60,000		
1100004	04904781160004	999M 004	04	XA0000004	1	100	01バラ	100.0	0.0	400.25	40,025		
テストラボ004			0004					100.0		500	50,000		
1100005	04904781160005	999M 005	05	XA0000005	6	10	01バラ	60.0	0.0	500.50	30,030		
テストラボ005			0005					60.0		600	36,000		
1100006	04904781160006	999M 006	06	XA0000006	1	80	01バラ	80.0	0.0	600.00	48,000		
テストラボ006			0006					80.0		700	56,000		
出荷数量合計					820	出荷原価金額合計					293,200	出荷売価金額合計	375,000

- ・「出荷確定済」状態：赤枠で囲った部分に赤色の線が入ります。

伝票番号別数量訂正

伝票キー項目
伝票番号: 10000003

伝票番号紐付条件
企業コード: [] 納品店舗: [] 梱包店舗: [] 納品指定日: [] 状況: 0未確定

取引情報

企業コード	納品店舗コード	梱包店舗コード	発注No	便区分	納品区分	指定納品時刻	取引先コード
企業名	納品店舗名	梱包店舗名					取引先名
0001	1001	2001	90000003	01	02店別納品	13:20:00	1111111
アーランドサカタKK	テストラボ*1	テストラボ*1					テストラボサキ1
部門コード	発注日	納品指定日	特売区分	発注区分	伝票区分	税率	摘要
0013	20190930	20191001	03特売	05要望発注	01発注仕入		
				02原価外税売価内税	10.0	テストラボ	

取引明細情報

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	商品分類(小)	入数	発注入数	検品区分	発注数量	欠品数量	原単価	出荷原価金額		
1100001	04904781160001	999M 001	01	XA0000001	1	200	04パレット	200.0	0.0	100.25	20,050		
テストラボ001			0001					200.0		200	40,000		
1100002	04904781160002	999M 002	02	XA0000002	2	60	04パレット	120.0	0.0	200.50	24,060		
テストラボ002			0002					120.0		300	36,000		
1100003	04904781160003	999M 003	03	XA0000003	5	30	04パレット	150.0	0.0	300.00	45,000		
テストラボ003			0003					150.0		400	60,000		
1100004	04904781160004	999M 004	04	XA0000004	1	100	04パレット	100.0	0.0	400.25	40,025		
テストラボ004			0004					100.0		500	50,000		
1100005	04904781160005	999M 005	05	XA0000005	6	10	04パレット	60.0	0.0	500.50	30,030		
テストラボ005			0005					60.0		600	36,000		
1100006	04904781160006	999M 006	06	XA0000006	1	80	04パレット	80.0	0.0	600.00	48,000		
テストラボ006			0006					80.0		700	56,000		
出荷数量合計					820	出荷原価金額合計					293,200	出荷売価金額合計	375,000

・「出荷送信済」状態：赤枠で囲った部分に黄色の線が入ります。

※一度でも送信したデータは「出荷未確定」「出荷確定済」に戻しても黄色のままとなります。

伝票番号別数量訂正

取消(F9) 開じる(F12)

伝票キー項目
伝票番号
10000001

取引情報

企業コード	納品店舗コード	梱包店舗コード	発注No	便区分	納品区分	指定納品時刻	取引先コード
0001	1001	2001	90000001	01	02店別納品	13:20:00	11111111
アークランドサカトKK	テストセンター1	テスト店舗1					テストセンター1
部門コード	発注日	納品指定日	特売区分	発注区分	伝票区分	税率	摘要
0013	20190930	20191001	03特売	05要望発注	01発注仕入		
				02原価外税売価内税	10.0	テストセンター	

取引明細情報

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	商品分類(小)	入数	発注入数	検品区分	発注数量	欠品数量	原単価	出荷原価金額		
1100001	04904781160001	999M 001	01	0001	1	200	01/バラ	200.0	0.0	100.25	20,050		
テストショウビン001								200.0		200	40,000		
1100002	04904781160002	999M 002	02	0002	2	60	01/バラ	120.0	0.0	200.50	24,060		
テストショウビン002								120.0		300	36,000		
1100003	04904781160003	999M 003	03	0003	5	30	01/バラ	150.0	0.0	300.00	45,000		
テストショウビン003								150.0		400	60,000		
1100004	04904781160004	999M 004	04	0004	1	100	01/バラ	100.0	0.0	400.25	40,025		
テストショウビン004								100.0		500	50,000		
1100005	04904781160005	999M 005	05	0005	6	10	01/バラ	60.0	0.0	500.50	30,030		
テストショウビン005								60.0		600	36,000		
1100006	04904781160006	999M 006	06	0006	1	80	01/バラ	80.0	0.0	600.00	48,000		
テストショウビン006								80.0		700	56,000		
出荷数量合計					820	出荷原価金額合計					293,200	出荷売価金額合計	375,000

7. 商品別数量訂正画面

商品別に数量等の訂正を行います。

◆商品別数量訂正画面表示方法 [受注/出荷]⇒[商品別数量訂正]

商品コード 1100001

商品コード絞込条件 企業コード 納品店舗 梱包店舗 納品指定日 状況 0:未確定

商品別一覧

商品コード	JANコード	納品指定日	企業コード	伝票番号	発注No	原単価	入数	出数	出荷原価金額
商品名(上段)	商品分類(小)	納品区分	納品店舗	行	特売区分	売単価	発注数量	出荷数量	出荷売価金額
商品名(下段)	商品分類(小)	納品区分	納品店舗	部門コード	発注区分	検品区分	欠品数量	状況	
1100001	04904781160001	20171205	0001	10000001	00000001	100.25	1		5,012
テストショウビン001		20171201	1001:テストセンター	01				50	10,000
999M 001		02:店別納品	2001:テストセンター	00				0:未確定	
1100001	04904781160001	20171205	0002	10000002	90000002	100.25	1		20,050
テストショウビン001		20171201	2001:テストセンター	01	03:特売	200	200.0	200.0	40,000
999M 001	XA0000001	00:無指定	2001:テストセンター	0013	02:店発注	01:バラ	0.0		0:未確定

出荷数量合計 250 出荷原価金額合計 25,062

全行の出荷数量を0に一括で変更 設定

【操作詳細】

- ① 「商品コード」コンボボックスで訂正対象の商品コードを入力・選択します。
- ② 「出荷数量」の訂正を行います。
- ③ 訂正が完了したら、『保存』ボタンを押すことで訂正を確定します。



★ワンポイントアドバイス★

「商品コード絞込条件」を指定すると、条件にあった商品コードだけが「商品コード」コンボボックスに出てくるようになります。

★注意★

「出荷確定済」の明細を訂正すると出荷確定が解除され「出荷未確定」の状態に戻るのをご注意ください。
※ピッキングリスト等の帳票も「未発行」の状態に戻ります。



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

8. 電話受注入力画面

オンライン受注以外(電話、FAX)の受注データの新規作成・変更・削除を行います。
また、受注データファイル入力画面から登録したデータの変更・削除を行います。

◆電話/FAX 受注入力画面表示方法 [受注/出荷]⇒[電話/FAX 受注入力]

【重要】当画面で受注データを新規登録する場合、事前にマスタメンテナンス画面から“納品先マスタ”を登録しておく必要があります。

その他マスタについての登録は任意となりますが、登録しておくとう画面での新規登録が行いやすくなります。

◆納品先マスタ画面表示方法 [マスタメンテナンス]⇒[納品先マスタ]

i. 新規作成を行う場合

The screenshot shows the '電話受注入力' (Phone Order Entry) window. At the top, there are buttons for '自動採番(F6)', '新規(F2)', '変更(F3)', and '削除(F8)'. A callout box points to the '新規(F2)' button, stating: '①作成する伝票の「企業コード」「納品店舗」を選択、「納品指定日」を入力します。' (Select the 'Company Code' and 'Delivery Store' for the invoice to be created, and enter the 'Delivery Designated Date').

Below the buttons, there are input fields for '伝票項目' (Invoice Item), '企業コード' (Company Code), '納品店舗' (Delivery Store), and '納品指定日' (Delivery Designated Date). A callout box points to the '伝票項目' field, stating: '②『自動採番』ボタンを押します。 ※指定の伝票番号で作成する場合は「伝票番号」を入力後、『新規』ボタンを押します。' (Press the 'Automatic Numbering' button. ※When creating with a specified invoice number, enter the 'Invoice Number' after pressing the 'Automatic Numbering' button, then press the 'New' button).

The main area of the screen is divided into two sections. The top section, '取引情報' (Transaction Information), contains a table for '梱包店舗コード' (Packaging Store Code) and '梱包店舗名' (Packaging Store Name). The bottom section, '取引明細情報' (Transaction Detail Information), contains a table with columns: '商品コード' (Product Code), 'JANコード' (JAN Code), '商品名(下段)' (Product Name (Lower Section)), '商品名(上段)' (Product Name (Upper Section)), '行' (Row), '商品分類(小)' (Product Classification (Small)), '出荷数量' (Shipment Quantity), '原単価' (Unit Price), '出荷原価金額' (Shipment Original Price Amount), '売単価' (Selling Unit Price), '出荷売価金額' (Shipment Selling Price Amount), and '削除' (Delete). A '行追加' (Add Row) button is located between the two sections.

At the bottom of the screen, there are summary fields: '出荷数量合計' (Total Shipment Quantity), '出荷原価金額合計' (Total Shipment Original Price Amount), and '出荷売価金額合計' (Total Shipment Selling Price Amount).

A large blue arrow points downwards from the bottom of the screen, indicating the next step in the process.

電話受入力

伝票キー項目

⑤『保存』ボタンを押します

納品店舗 2001:テストテナ1

③「取引情報」欄を入力します

取引情報

梱包店舗コード	梱包店舗名	部門コード	発注日	特売区分	税区分	税率	摘要
1001	テストテナ1	1234	20190930	01:通常	02:原価外税売価	10	

取引明細情報

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	商品分類(小)	出荷数量	原単価	出荷原価金額	削除
1100001	04904781160001	999M 001	01			100.25	1,002	
テストウェア001					10.0	200	2,000	削除

④「取引明細情報」欄を入力します
※2明細以上を入力する場合は『行追加』ボタンを押します(1行入力完了後に押してください)
※不要な行は『削除』ボタンで削除します

出荷数量合計 10 出荷原価金額合計 1,002 出荷売価金額合計 2,000

【操作詳細：新規作成】

① 作成する伝票の「企業コード」「納品店舗」を選択、「納品指定日」を入力します。

② 『自動採番』ボタンを押して新規作成を開始します。

※自動採番マスタを登録していない場合、指定の伝票番号で新規作成を行う場合は「伝票番号」に指定の伝票番号を入力後、『新規』ボタンを押します。

※自動採番を利用しない場合、チェックディジットが自動で末尾に付与されません。

◆自動採番マスタ画面表示方法 【マスタメンテナンス】⇒【自動採番マスタ】

③ 「取引情報」欄の項目を入力します。

※各項目の色はそれぞれ以下の意味となっています。

桃色部分：入力／選択必須

水色部分：入力／選択任意

白色部分：入力／選択不可

④ 「取引明細情報」欄の項目を入力します。

2明細以上入力する場合は『行追加』ボタンを押して行を追加します。(1行入力完了後に押してください)
行を削除する場合は該当行の『削除』ボタンを押してください。

⑤ 入力が完了したら、『保存』ボタンを押して入力データを保存します。

ii. 変更を行う場合

電話受注画面で変更が行えるデータは以下になります。

- ・電話受注画面で作成したデータ（出荷未送信のみ）

※出荷送信済データを訂正する場合は受注一覧画面で該当の伝票を検索の上、訂正を行ってください。

①変更する「伝票番号」「企業コード」「納品店舗」「納品指定日」を選択後、『変更』ボタンを押します

電話受注入力

自動採番(F6) 新規(F2) 変更(F3) 削除(F8) 開じる(F12)

伝票キー項目

伝票番号 企業コード 納品店舗 納品指定日

取引情報

梱包店舗コード	梱包店舗名	部門コード	発注日	特売区分	税区分	税率	摘要

取引明細情報

商品コード JANコード 商品名(下段) 商品名(上段) 行 商品分類(小) 出荷数量 原単価 出荷原価金額 売単価 出荷売価金額 削除

出荷数量合計 0 出荷原価金額合計 0 出荷売価金額合計 0

④『保存』ボタンを押します

取消(F9) 開じる(F12)

伝票キー項目

伝票番号 1001 納品店舗 2001:テストテナ1 納品指定日 20191001

取引情報

梱包店舗コード	梱包店舗名	部門コード	発注日	特売区分	税区分	税率	摘要
1001	テストテナ1						
1234			20190930	01:通常			

取引明細情報

商品コード JANコード 商品名(下段) 商品名(上段) 行 商品分類(小) 出荷数量 原単価 出荷原価金額 売単価 出荷売価金額 削除

1100001	04904781160001	999M 001	01					100.25	1,002		
テストシャピン001							10.0	200	2,000		削除

②「取引情報」欄を変更します

③「取引明細情報」欄を変更します

出荷数量合計 10 出荷原価金額合計 1,002 出荷売価金額合計 2,000

【操作詳細：変更】

- ① 変更する「伝票番号」「企業コード」「納品店舗」「納品指定日」を選択後、『変更』ボタンを押します。
- ② 「取引情報」欄の項目を変更します。
- ③ 「取引明細情報」欄の項目を変更します。
- ④ 変更が完了したら、『保存』ボタンを押して変更データを保存します。

iii. 削除を行う場合

電話受注画面で削除が行えるデータは以下になります。

- ・電話受注画面で作成したデータ（出荷未送信のみ）
- ・受注データファイル入力画面で登録したデータ（出荷未送信のみ）

※出荷送信済データを電話受注入力画面で削除することはできません。削除を行う場合は受注一覧画面から該当の伝票を選択してください。

⇒当マニュアル内「※出荷送信済データを再送する場合（電話受注入力画面作成、受注ファイル入力データ）をご参照ください。

◆受注一覧画面表示方法 [受注/出荷]⇒[受注一覧]



電話受注入力

保存(F4) 取消(F9) 開じる(F12)

伝票キー項目

伝票番号 10000014 企業コード 0001 納品店舗 2001:テストホン*1 納品指定日 20191001

取引情報

棚卸店舗コード	棚卸店舗名	テストセンター1	部門コード	発注日	1234	20190930	01:通常	02:原価外税売(価内税)	10	摘要
1001										

②削除対象に間違いがないことを確認後、『保存』ボタンを押します

取引月別情報

行追加

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	商品分類(小)	出荷数量	原単価	出荷原価金額	削除
1100001	04904781160001	999M 001	01			100.25	1,002	削除
テストジョウビン001					10.0	200	2,000	削除

出荷数量合計 10 出荷原価金額合計 1,002 出荷売価金額合計 2,000

【操作詳細：削除】

- ① 削除する「伝票番号」「企業コード」「納品店舗」「納品指定日」を選択後、『削除』ボタンを押します。
- ② 削除対象に間違いがないことを確認後、『保存』ボタンを押して削除します。



★ワンポイントアドバイス★

必ず事前登録しないとイケない納品先マスタ以外の以下マスタを事前に登録しておくで電話受注入力画面が利用しやすくなります。マスタ登録は全てマスタメンテナンス画面から行うことができます。

★注意★

受注データファイル入力画面で登録したデータは電話受注入力画面では削除することしかできません。変更する必要がある場合は、一度。当画面で削除後、改めて登録するようにしてください。



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

9. 出荷確定画面

出荷データの確定を行います。

◆出荷確定画面表示方法 [受注/出荷]⇒[出荷確定]

選択	納品指定日	発注日	企業コード	納品店舗	梱包店舗	伝票番号	発注No	数量合計	原価金額合計	データ作成元
☐	20171205	20171201	0001	1001テストセンター1	2001テストテンポ*1	10000001	90000001	720	288,175	0:オンライン受信
☐	20171205	20171201	0001	1001テストセンター1	2001テストテンポ*1	10000003	90000003	720	288,175	0:オンライン受信
☐	20171205	20171201	0002	2001テストテンポ*1	2001テストテンポ*1	10000002	90000002	820	293,200	0:オンライン受信

【操作詳細】

- ① 「未確定データ」または「確定済データ」のどちらかを選択し『検索』ボタンを押します。
「明細一覧」に指定した「対象」のデータが表示されます。
- ② 確定を行うデータにチェックを付けます。
※確定解除を行う場合、確定解除を行うデータにチェックを付けます。
- ③ 『確定』ボタンを押すことでチェックしたデータを出荷確定済みにします。
※『確定解除』ボタンを押すことでチェックしたデータを出荷未確定にします。



★ワンポイントアドバイス★

絞込条件」を指定すると、条件にあったデータのみが「明細一覧」に表示されます。

★注意★

「絞込条件」を選択すると、変更したチェックの状態が破棄され、初期のチェック状態に戻ってしまうので注意してください。



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

10. 出荷送信画面

出荷確定済データの送信を行います。

◆出荷送信画面表示方法 [受注/出荷]⇒[出荷送信]

The screenshot shows the '出荷送信' (Shipment Transmission) window. It has a title bar with '出荷送信' and a close button. Inside, there's a '送信モード' (Transmission Mode) section with a radio button for '送信' (Transmission). Below that is the '対象' (Target) section with a radio button for '企業コード' (Company Code) and a dropdown menu. A callout ① points to the dropdown menu, saying '①送信する企業コードを選択します。' (Select the company code to be transmitted). Below that is the '出力帳票' (Output Statement) section with a checkbox for '出荷送信プルーフリスト' (Shipment Transmission Proof List). A callout ② points to this checkbox, saying '②送信と同時に出力する帳票を選択します。' (Select the statement to be output simultaneously with transmission). At the bottom is a large button labeled '送信開始' (Start Transmission). A callout ③ points to this button, saying '③『送信開始』ボタンを押します。' (Press the 'Start Transmission' button).

【操作詳細】

- ① 送信する企業コードを選択します。
- ② 送信と同時に出力する帳票を選択します。
- ③ 『送信開始』ボタンを押すことで送信が開始されます。



★ワンポイントアドバイス★

「出力帳票」で『送信プルーフリスト』を選択して送信を開始すると、送信完了後、『送信プルーフリスト』が自動的に印刷されます。

★注意★

未送信出荷確定済データが存在しない状態では、出荷送信を行うことはできません。
※出荷送信を行うには[出荷確定]画面にて出荷確定をする必要があります。



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

11. プルーフリスト出力画面

受注受信／出荷送信プルーフリストの出力を行います。

◆プルーフリスト出力画面表示方法 [受注/出荷]⇒[プルーフリスト出力]

【操作詳細】

① 出力を行う帳票を選択します。

② 出力条件を各コンボボックスにて指定します。

③ 出力対象を指定します。

未発行：一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします。

再発行：過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします。

両方：全てのデータを出力対象とします。

④ 出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます。



★ワンポイントアドバイス①★

『出力条件』の『～』が存在するコンボボックスは、左側のみ指定することで、“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。
※同様に右側のみ指定することもできます。

★ワンポイントアドバイス②★

『印刷』ボタンを押す前に、『プレビュー』ボタンを押すと、出力される帳票をプレビュー画面で確認することができます。
※プレビュー画面から直接出力することもできます。

★注意★

出力条件を指定しないと、出力対象で指定した範囲全てのデータが出力対象になってしまうので注意してください。

例：出力条件未指定＋出力対象『再発行』指定

⇒過去に出力したことのあるデータ全てが出力されてしまいます。



※1. 本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

※2. 帳票のレイアウト等に関しては、別紙「業務マニュアル【帳票・詳細編】」をご参照ください。

12. ピッキングリスト出力画面

商品別／納品先別ピッキングリストの出力を行います。

◆ピッキングリスト出力画面表示方法 [受注/出荷]⇒[ピッキングリスト出力]

【操作詳細】

① 出力を行う帳票を選択します。

② 出力条件を各コンボボックスにて指定します。

③ 出力対象を指定します。

未発行：一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします。

再発行：過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします。

両方：全てのデータを出力対象とします。

④ 出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます。



★ワンポイントアドバイス①★

『出力条件』の『～』が存在するコンボボックスは、左側のみ指定することで、“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。
※同様に右側のみ指定することもできます。

★ワンポイントアドバイス②★

『印刷』ボタンを押す前に、『プレビュー』ボタンを押すと、出力される帳票をプレビュー画面で確認することができます。
※プレビュー画面から直接出力することもできます。

★注意★

出力条件を指定しないと、出力対象で指定した範囲全てのデータが出力対象になってしまうので注意してください。

例：出力条件未指定＋出力対象『再発行』指定

⇒過去に出力したことのあるデータ全てが出力されてしまいます。



※1. 本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

※2. 帳票のレイアウト等に関しては、別紙「業務マニュアル【帳票・詳細編】」をご参照ください。

13. 納品リスト出力画面

仕入伝票、納品明細書の出力を行います。

◆納品リスト出力画面表示方法 [受注/出荷]⇒[納品リスト出力]

The screenshot shows the '納品リスト出力' (Delivery List Output) window. It has a title bar with 'iTERAN' and standard window controls. Below the title bar are two buttons: '印刷(F5)' (Print) and 'プレビュー(F6)' (Preview). The main area is divided into three sections: '出力帳票' (Output Statement), '出力条件' (Output Conditions), and '対象' (Target).

- 出力帳票 (Output Statement):** Contains a radio button for '仕入伝票／納品明細書' (Purchase Invoice / Delivery Detail Sheet). Below it are two red bullet points: '●「店舗納品時自動検品OK」にチェックあり' (Check 'Store Delivery Automatic Inspection OK') and '▼納品区分が"00:店舗納品"…「納品明細書」を出力します' (When delivery category is '00: Store Delivery', output 'Delivery Detail Sheet'). Another red bullet point says '●「店舗納品時自動検品OK」にチェックなし' (No check for 'Store Delivery Automatic Inspection OK') and '▼納品区分が"01、02:センター納品"…「仕入伝票」を出力します' (When delivery category is '01, 02: Center Delivery', output 'Purchase Invoice'). At the bottom of this section is a checkbox '店舗納品時自動検品OK'.
- 出力条件 (Output Conditions):** Contains five dropdown menus: '受信日時' (Reception Date/Time), '納品指定日' (Delivery Designated Date), '企業コード' (Company Code), '納品店舗' (Delivery Store), and '伝票番号' (Invoice Number).
- 対象 (Target):** Contains three radio buttons: '未発行' (Not Issued), '再発行' (Re-issued), and '両方' (Both).

Callouts (numbered 1-4) point to specific elements:

- ① アークランドサカモト様より「店舗納品時自動検品」の許可が得られた場合、チェックボックスにチェックを入れます。(When permission is obtained from Arakanda Sakamoto for 'Store Delivery Automatic Inspection', check the checkbox.)
- ② 出力条件を指定します。(Specify output conditions.)
- ③ 出力対象を指定します。(Specify output target.)
- ④ 『印刷』ボタンを押します。(Press the 'Print' button.)

【操作詳細】

- ① アークランドサカモト様より「店舗納品時自動検品」の許可が得られた場合、チェックボックスにチェックを入れます。
- ② 出力条件を各コンボボックスにて指定します。
- ③ 出力対象を指定します。

未発行：一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします。

再発行：過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします。

両方：全てのデータを出力対象とします。

※仕入伝票を出力したデータは納品明細書も発行済として処理されます。

また、逆に納品明細書を出力したデータは仕入伝票発行済として処理されます。

(通常、同一伝票についてどちらか片方しか出力しないため)

- ④ 出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます。



★ワンポイントアドバイス①★

『出力条件』の『～』が存在するコンボボックスは、左側のみ指定することで、“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。
※同様に右側のみ指定することもできます。

★ワンポイントアドバイス②★

『印刷』ボタンを押す前に、『プレビュー』ボタンを押すと、出力される帳票をプレビュー画面で確認することができます。
※プレビュー画面から直接出力することもできます。

★注意★

出力条件を指定しないと、出力対象で指定した範囲全てのデータが出力対象になってしまうので注意してください。

例：出力条件未指定＋出力対象『再発行』指定

⇒過去に出力したことのあるデータ全てが出力されてしまいます。



※１．本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

※２．帳票のレイアウト等に関しては、別紙「業務マニュアル【帳票・詳細編】」をご参照ください。

14. 受注データファイル入力画面

受注データの外部ファイル入力を行います。

◆受注データファイル入力画面表示方法 [受注/出荷]⇒[受注ファイル入力]

【操作詳細】

- ① 入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します。
- ② 入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します。
- ③ ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が開始されます。



★ワンポイントアドバイス①★

入力ファイルのレイアウトは[各種設定]⇒[入出力レイアウト設定]で変更することができます。

★ワンポイントアドバイス②★

ファイル入力したデータの削除は[受注/出荷]⇒[電話受注入力]画面にて行うことができます。

※訂正データのファイル入力はできませんので、訂正を行う場合は一度削除した後、再度ファイル入力を行ってください。

★注意★

入力ファイル内に入力エラーデータがあるときは、全入力データの取込を破棄するので注意してください。

※入力エラーデータを修正し、再度ファイル入力処理を行ってください。



- ※1. 本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。
- ※2. 入力ファイルレイアウト初期値に関しては、別紙「外部データ連携入出力レイアウトの初期値」をご参照ください。
- ※3. 入力ファイルレイアウト設定変更方法に関しては、別紙「共通機能マニュアル」内、「各種設定業務 操作方法 入出力レイアウト設定」をご参照ください。

15. 受注データファイル出力画面

受注データの外部ファイル出力を行います。

◆受注データファイル出力画面表示方法 [受注/出荷]⇒[受注ファイル出力]

【操作詳細】

- ① 出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します。
- ② 出力条件を各コンボボックスにて指定します。
- ③ 出力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します。
- ④ ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます。



★ワンポイントアドバイス★

『出力条件』の『～』が存在するコンボボックスは、左側のみ指定することで、“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。
※同様に右側のみ指定することもできます。

★注意★

出力条件を指定しないと、全てのデータが出力対象になってしまうので注意してください。



- ※1. 本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。
- ※2. 出力ファイルレイアウト初期値に関しては、別紙「外部データ連携入出力レイアウトの初期値」をご参照ください。
- ※3. 出力ファイルレイアウト設定変更方法に関しては、別紙「共通機能マニュアル」内、「各種設定業務 操作方法 入出力レイアウト設定」をご参照ください。

16. 出荷確定データファイル入力画面

出荷確定データの外部ファイル入力を行うことで数量訂正、出荷確定処理を行います。

◆出荷確定データファイル入力画面表示方法 [受注/出荷]⇒[出荷確定ファイル入力]

【操作詳細】

- ① 入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します。
- ② 入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します。
- ③ ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が開始されます。



★ワンポイントアドバイス①★

入力ファイルのレイアウトは[各種設定]⇒[入出力レイアウト設定]で変更することができます。

★ワンポイントアドバイス②★

「出荷未送信」受注データに対する数量訂正、出荷確定処理を行います。

★注意①★

入力ファイル内に入力エラーデータがあるときは、全入力データの取込を破棄するので注意してください。

※入力エラーデータを修正し、再度ファイル入力処理を行ってください。

★注意②★

新規受注データの inputs は、当画面からはできません。

※新規受注データの inputs は、[受注データファイル入力]画面から行ってください。



※1. 本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

※2. 入力ファイルレイアウト初期値に関しては、別紙「外部データ連携入出力レイアウトの初期値」をご参照ください。

※3. 入力ファイルレイアウト設定変更方法に関しては、別紙「共通機能マニュアル」内、「各種設定業務 操作方法 入出力レイアウト設定」をご参照ください。

17. 出荷確定データファイル出力画面

出荷確定データの外部ファイル出力を行います。

◆出荷確定データファイル出力画面表示方法 [受注/出荷]⇒[出荷確定ファイル出力]

【操作詳細】

- ① 出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します。
- ② 出力条件を各コンボボックスにて指定します。
- ③ 出力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します。
- ④ ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます。



★ワンポイントアドバイス★

『出力条件』の『～』が存在するコンボボックスは、左側のみ指定することで、“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。
※同様に右側のみ指定することもできます。

★注意★

出力条件を指定しないと、全てのデータが出力対象になってしまうので注意してください。



- ※1. 本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。
- ※2. 出力ファイルレイアウト初期値に関しては、別紙「外部データ連携入出力レイアウトの初期値」をご参照ください。
- ※3. 出力ファイルレイアウト設定変更方法に関しては、別紙「共通機能マニュアル」内、「各種設定業務 操作方法 入出力レイアウト設定」をご参照ください。

18. 受領一覧画面

オンライン受信した受領データを一覧で確認します。

◆受領一覧画面表示方法 [受領]⇒[受領一覧]

受領一覧

①表示対象の「計上日」を入力します

②『検索』ボタンを押します

③『詳細』ボタンを押し明細画面を開きます

確認一覧

詳細	データ種	納品指定日	計上日	企業コード	納品店舗	梱包店舗	伝票番号	伝票区分	数量合計	原価金額合計
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	10000001	01発注仕入	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	10000002	01発注仕入	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	10000003	01発注仕入	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	10000004	01発注仕入	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	10000005	01発注仕入	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	20000001	01発注仕入	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	20000002	01発注仕入	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	20000003	01発注仕入	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	20000004	01発注仕入	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	20000005	01発注仕入	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	20000011	22返品マイナス	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	20000012	22返品マイナス	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	20000013	22返品マイナス	820	293,200
詳細	0受領	20191001	20191001	0001	1001テストセンター	2001テストセンター	20000014	22返品マイナス	820	293,200

受領明細

④『閉じる』ボタンを押し、受領一覧画面に戻ります

伝票番号
10000001

取引情報

企業コード	納品店舗コード	梱包店舗コード	発注No	便区分	納品区分	指定納品時刻	取引先コード
企業名	納品店舗名	梱包店舗名					取引先名
0001	1001	2001	90000001	01	02店別納品	13:20:00	11111111
アークラックサカキKK	テストセンター	テストセンター					テストセンター
部門コード	発注日	指定納品日	特売区分	発注区分	伝票区分	検取担当者	カテゴリ名2
		計上日 <td>税率 <td>税率 <td>税率 <td>摘要</td> <td></td> </td></td></td>	税率 <td>税率 <td>税率 <td>摘要</td> <td></td> </td></td>	税率 <td>税率 <td>摘要</td> <td></td> </td>	税率 <td>摘要</td> <td></td>	摘要	
0013	20190930	20191001	03特売	05要望発注	01発注仕入	担当者A	
		20191001		02原価外税売価	10.0	テストセンター	

取引明細情報

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	発注SEQ	検品区分	発注数量	出荷数量	受領数量	原単価	原価金額
商品名(上段)					規格力ナ					
1100001	04904781160001	999M 001	01	0001	01バラ	200.0	200.0	200.0	100.25	20,050
テストショウビン001										
1100002	04904781160002	999M 002	02	0002	01バラ	120.0	120.0	120.0	200.50	24,060
テストショウビン002										
1100003	04904781160003	999M 003	03	0003	01バラ	150.0	150.0	150.0	300.00	45,000
テストショウビン003										
1100004	04904781160004	999M 004	04	0004	01バラ	100.0	100.0	100.0	400.25	40,025
テストショウビン004										
1100005	04904781160005	999M 005	05	0005	01バラ	60.0	60.0	60.0	500.50	30,030
テストショウビン005										
1100006	04904781160006	999M 006	06	0006	01バラ	80.0	80.0	80.0	600.00	48,000
テストショウビン006										
数量合計						820	原価金額合計		293,200	

【操作詳細】

- ① 「対象期間」に表示対象の「計上日」を入力します。
- ② 『検索』ボタンを押すことで、「確認一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます。
- ③ 『詳細』ボタンを押して、明細画面を開きます。
- ④ 『閉じる』ボタンを押し、受注一覧画面に戻ります。



★ワンポイントアドバイス①★

「対象期間」の左のコンボボックスのみ指定することで“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。

※同様に右側のみ指定することもできます。

★ワンポイントアドバイス②★

「絞込条件」を指定すると条件に合ったデータだけが「受領一覧」に表示されます。

★注意★

『絞込条件』に表示されるデータは『受領一覧』に表示されているデータの中からしか選択できません。



※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

19. 受領差異一覧画面

出荷データと受領データの差異を一覧画面、明細画面にて確認を行います。

※受領訂正データは対象外となります。

◆受領差異一覧画面表示方法 [受領]⇒[受領差異一覧]

受領差異確認一覧

出荷データを再送信すると当画面に表示され、※再送信した出荷データと受領データで差異を確認します。 (F12) 閉じる

①表示対象の「指定納品日」を入力します

対象期間
納品指定日: [] ~ 20171216 [検索]

②『検索』ボタンを押します

絞込条件
企業コード: [] 納品店舗: [] 梱包店舗: [] 伝票番号: [] 差異区分: []

差異確認一覧

詳細	納品指定日	企業コード	納品店舗	梱包店舗	取引番号	出荷数量計	受領数量計	出荷原価金計	受領原価金計	差異区分
詳細	20171215	0001	1111テストラボ	1111テストラボ	10000021	100	0	10,025	0	1:出荷のみ
詳細	20171206	0001	1001テストセンター1	2001テストラボ1	10000002	0	820	0	293,200	2:受領のみ
詳細	20171206	0001	1001テストセンター1	2001テストラボ1	10000004	0	820	0	293,200	2:受領のみ
詳細	20171206	0001	1001テストセンター1	2001テストラボ1	20000001	0	820	0	293,200	2:受領のみ
詳細	20171205	0001	1001テストセンター1	2001テストラボ1	0003	0	820	0	293,200	2:受領のみ
詳細	20171205	0001	1001テストセンター1	2001テストラボ1	0005	0	820	0	293,200	2:受領のみ
詳細	20171205	0001	1001テストセンター1	2001テストラボ1	0001	720	820	283,175	293,200	9:差異あり
詳細	20171205	0001	1001テストセンター1	2001テストラボ1	0003	720	820	283,175	293,200	9:差異あり
詳細	20171205	0001	1001テストセンター1	2001テストラボ1	10000005	0	820	0	293,200	2:受領のみ
詳細	20171205	0001	1001テストセンター1	2001テストラボ1	20000002	0	820	0	293,200	2:受領のみ
詳細	20171205	0001	1001テストセンター1	2001テストラボ1	20000004	0	820	0	293,200	2:受領のみ
詳細	20171205	0002	2001テストラボ1	2001テストラボ1	10000002	820	0	293,200	0	1:出荷のみ

③『詳細』ボタンを押し明細画面を開きます

受領差異確認明細

伝票番号: 20000005 (F12) 閉じる

④『閉じる』ボタンを押し、受領差異一覧画面に戻ります

取引情報

企業コード	納品店舗コード	梱包店舗コード	発注No	便区分	納品区分	指定納品時刻	取引先コード
0001	1001	2001	90000005	01	02:店別納品	13:20:00	11111111
アーケラントサカキKK	テストセンター1	テストラボ1					テストラボサキキ1
部門コード	発注日	指定納品日	特売区分	発注区分	伝票区分		
0013	20171201	20171206	03:特売	05:要望発注	01:発注仕入		
		20171207					

取引明細情報

商品コード	JANコード	商品名(下段)	行	出荷原価金額	受領原価金額	原単価	出荷数量	受領数量			
商品名(上段)											
1100001	04904781160001	999M 001	01			100.25	0.0	200.0			
テストラボ001				0	20,050						
1100002	04904781160002	999M 002	02			200.50	0.0	120.0			
テストラボ002				0	24,060						
1100003	04904781160003	999M 003	03			300.00	0.0	150.0			
テストラボ003				0	45,000						
1100004	04904781160004	999M 004	04			400.25	0.0	100.0			
テストラボ004				0	40,025						
1100005	04904781160005	999M 005	05			500.50	0.0	60.0			
テストラボ005				0	30,030						
1100006	04904781160006	999M 006	06			600.00	0.0	80.0			
テストラボ006				0	48,000						
出荷数量合計				0	受領数量合計	820	出荷原価金合計		0	受領原価金合計	293,200

【操作詳細】

- ① 「対象期間」に表示対象の「納品指定日」を入力します。
- ② 『検索』ボタンを押すことで、「差異確認一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます。
- ③ 『詳細』ボタンを押して、明細画面を開きます。
- ④ 『閉じる』ボタンを押し、受注一覧画面に戻ります。



★ワンポイントアドバイス①★

「対象期間」の左のコンボボックスのみ指定することで“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。

※同様に右側のみ指定することもできます。

★ワンポイントアドバイス②★

「絞込条件」を指定すると条件に合ったデータだけが「受領一覧」に表示されます。

★注意①★

『絞込条件』に表示されるデータは『受領差異一覧』に表示されているデータの中からしか選択できません。

★注意②★

当画面に表示される受領データは伝票区分が“01（発注仕入）”のみとなります。※出荷データは送信済の全データが対象となります。

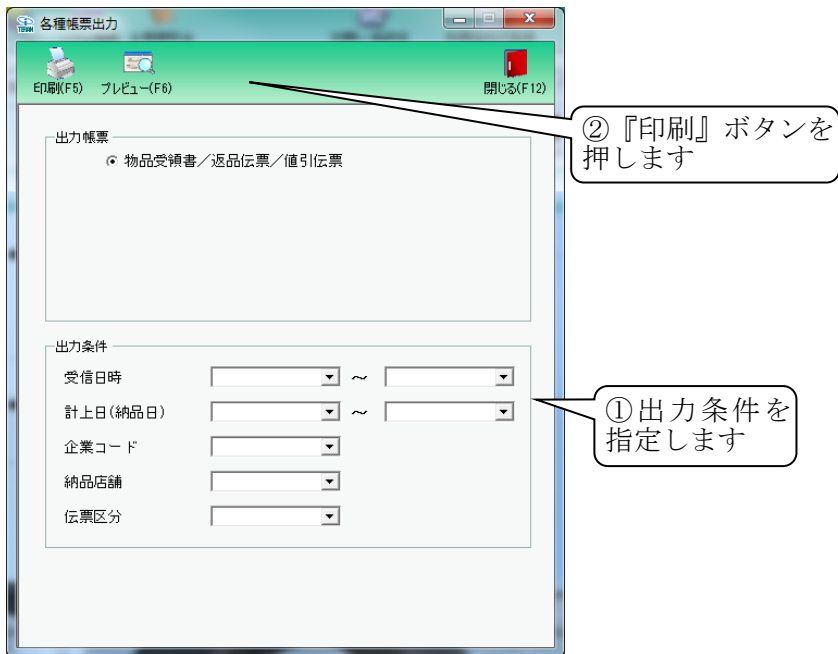


※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

20. 各種帳票出力画面

物品受領書、返品伝票、値引伝票の出力を行います。

◆各種帳票出力画面表示方法 [受領]⇒[各種帳票出力]



【操作詳細】

- ① 出力条件を各コンボボックスにて指定します。
- ② 出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます。

※物品受領書、返品伝票、値引伝票のいずれかを出力するかは以下条件で自動判断します。

伝票区分：01 ⇒ 物品受領書

伝票区分：02 ⇒ 返品伝票

伝票区分：04 ⇒ 値引伝票



★ワンポイントアドバイス①★

『出力条件』の『～』が存在するコンボボックスは、左側のみ指定することで、“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。
※同様に右側のみ指定することもできます。

★ワンポイントアドバイス②★

『印刷』ボタンを押す前に、『プレビュー』ボタンを押すと、出力される帳票をプレビュー画面で確認することができます。
※プレビュー画面から直接出力することもできます。

★注意★

出力条件を指定しないと、出力対象で指定した範囲全てのデータが出力対象になってしまうので注意してください。



※1. 本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

※2. 帳票のレイアウト等に関しては、別紙「業務マニュアル【帳票・詳細編】」をご参照ください。

21. 受領データファイル出力画面

受領データの外部ファイル出力を行います。

◆受領データファイル出力画面表示方法 [受領]⇒[受領ファイル出力]

【操作詳細】

- ① 出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します。
- ② 出力条件を各コンボボックスにて指定します。
- ③ 出力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します。
- ④ ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます。



★ワンポイントアドバイス★

『出力条件』の『～』が存在するコンボボックスは、左側のみ指定することで、“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。
※同様に右側のみ指定することもできます。

★注意★

出力条件を指定しないと、全てのデータが出力対象になってしまうので注意してください。



- ※1. 本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。
- ※2. 出力ファイルレイアウト初期値に関しては、別紙「外部データ連携入出力レイアウトの初期値」をご参照ください。
- ※3. 出力ファイルレイアウト設定変更方法に関しては、別紙「共通機能マニュアル」内、「各種設定業務 操作方法 入出力レイアウト設定」をご参照ください。

22. 支払一覧画面

オンライン受信した支払データを一覧にて確認を行います。

◆支払一覧画面表示方法 [支払]⇒[支払一覧]

①表示させる対象のデータの条件を入力します

②『検索』ボタンを押します

③絞込条件を入力します

対象
受信日 [] ~ []
締め日 [] ~ [] 検索

支払合計情報
企業コード 支払内容 支払内容(個別) 支払内容(名称) 支払金額

支払明細サマリ情報
総伝票件数計 総支払金額合計
0 0

企業コード 伝票件数計 支払金額合計 計上部署

支払データ絞込条件
企業コード [] 計上部署 [] 計上日 [] ~ [] 伝票番号 [] ~ [] 支払内容 []

支払データ一覧
計上日 伝票番号 企業コード 計上部署コード 取引先コード 支払内容 内容(カナ) 支払金額

④『表示』ボタンを押下すると右の計上部署が表示されます

⑤『設定』ボタンを押下すると絞込条件が設定され一覧にデータが表示されます

⑥『閉じる』ボタンを押して支払一覧画面に戻ります

対象
受信日 2019/08/30 13:17:34 ~ []
締め日 [] ~ [] 検索

支払合計情報
企業コード 支払内容 支払内容(個別) 支払内容(名称) 支払金額
0001 2000相殺明細 0000 発注手数料 -5,000
0001 2000相殺明細 0000 TC通過手数料
月細 0000 TC個口預り手数料
月細 0000 納品帳票代

支払明細サマリ情報
総伝票件数計 総支払金額合計
10 350,000

企業コード 伝票件数計 支払金額合計 計上部署
0001 10 350,000 表示

支払データ絞込条件
企業コード [] 計上部署 [] 計上日 [] ~ [] 伝票番号 [] ~ [] 支払内容 []

支払データ一覧
計上日 伝票番号 企業コード 計上部署コード 取引先コード 伝票区分 支払内容 内容(個別) 内容(カナ) 支払金額
20191027 11100007 0001 0920 1111111 01発注仕入 1001仕入明細 0000 T__ 18,000
アークラントサカキTC 05原価外税売価 8.0
20191015 11100010 0001 0920 1111111 01発注仕入 1001仕入明細 0000 T__ 22,000
アークラントサカキTC 05原価外税売価 10.0
20191012 11100009 0001 0920 1111111 01発注仕入 1001仕入明細 0000 T__ 85,000
アークラントサカキTC 02原価外税売価 8.0
20191011 11100005 0001 0104 1111111 02返品 1002返品明細 0000 __ -3,000

【操作詳細】

- ① 「対象」に表示対象の条件を選択します。
- ② 『検索』ボタンを押すことで、「支払一覧」に指定した「対象」のデータが表示されます。
- ③ 絞込条件を設定することで、条件のデータに絞り込まれます。
- ④ 『表示』ボタンを押すことで対象の計上部署のデータが右に表示されます。
- ⑤ 『設定』ボタンを押下することで、絞込条件が設定され、支払一覧に条件のデータが表示されます。
- ⑥ 『閉じる』ボタンを押し、支払一覧画面に戻ります。



★ワンポイントアドバイス①★

対象の条件で検索されたデータが一覧に表示されます。

★ワンポイントアドバイス②★

絞込条件を設定することで条件のデータに絞込ことが出来ます。

★注意①★

コンボボックスに表示されるデータは存在するデータしか表示されません。

★注意②★

企業コード、計上部署についてコードが同じで名称が異なる伝票は、コード単位でサマリ（集計）、絞り込みを行ってしまいます。この点について iTERAN/AE の仕様となりますのでご了承ください。

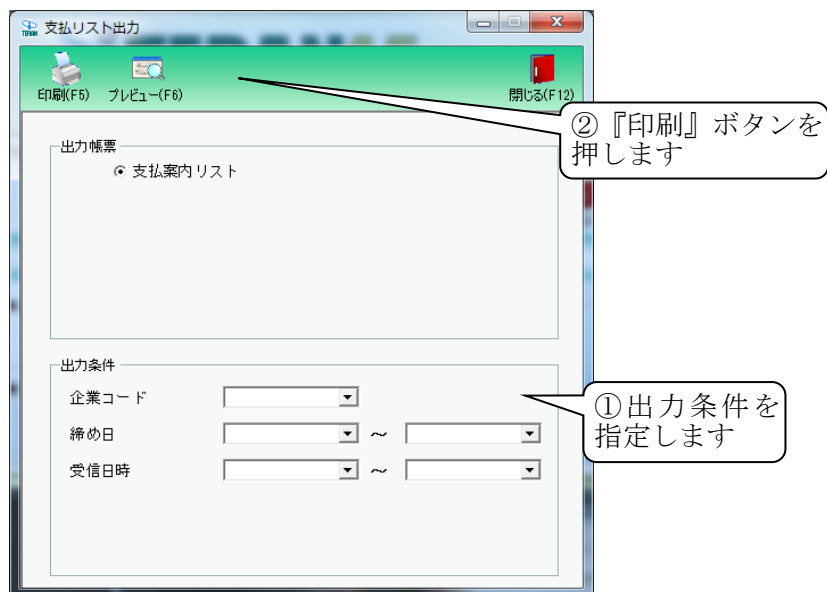


※本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

23. 支払リスト出力画面

支払案内リストの出力を行います。

◆支払リスト出力画面表示方法 [支払]⇒[支払リスト出力]



【操作詳細】

- ① 出力条件を各コンボボックスにて指定します。
- ② 出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます。



★ワンポイントアドバイス①★

『出力条件』の『～』が存在するコンボボックスは、左側のみ指定することで、“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。
※同様に右側のみ指定することもできます。

★ワンポイントアドバイス②★

『印刷』ボタンを押す前に、『プレビュー』ボタンを押すと、出力される帳票をプレビュー画面で確認することができます。
※プレビュー画面から直接出力することもできます。

★注意★

出力条件を指定しないと、出力対象で指定した範囲全てのデータが出力対象になってしまうので注意してください。



※1. 本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。

※2. 帳票のレイアウト等に関しては、別紙「業務マニュアル【帳票・詳細編】」をご参照ください。

24. 支払データファイル出力画面

支払データの外部ファイル出力を行います。

◆支払データファイル出力画面表示方法 [支払]⇒[支払ファイル出力]

The screenshot shows a window titled '支払データファイル出力' (Payment Data File Output). It contains the following elements:

- 出力ファイル形式 (Output File Format):** Two radio buttons: 'CSV形式' (selected) and '固定長' (Fixed Length).
- 出力条件 (Output Conditions):** Three rows of dropdown menus for '企業コード' (Company Code), '締め日' (Closing Date), and '受信日時' (Receiving Date/Time). Each row has a '~' symbol between the first and second dropdowns.
- 出力ファイルパス (Output File Path):** A text input field with a '参照' (Reference) button next to it.
- 出力処理開始 (Start Output Processing):** A button at the bottom.

Numbered callouts point to specific features:

- ① 出力するファイルの形式を選択します (Select the format of the file to be output).
- ② 出力条件を指定します (Specify output conditions).
- ③ 出力ファイルパスを入力します (Enter the output file path).
- ④ 『出力処理開始』ボタンを押します (Press the 'Start Output Processing' button).

【操作詳細】

- ⑤ 出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します。
- ⑥ 出力条件を各コンボボックスにて指定します。
- ⑦ 出力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します。
- ⑧ ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます。



★ワンポイントアドバイス★

『出力条件』の『～』が存在するコンボボックスは、左側のみ指定することで、“指定した日付以降”を出力対象とすることができます。
※同様に右側のみ指定することもできます。

★注意★

出力条件を指定しないと、全てのデータが出力対象になってしまうので注意してください。



- ※1. 本画面の詳細に関しては、別紙「業務マニュアル【画面・詳細編】」をご参照ください。
- ※2. 出力ファイルレイアウト初期値に関しては、別紙「外部データ連携入出力レイアウトの初期値」をご参照ください。
- ※3. 出力ファイルレイアウト設定変更方法に関しては、別紙「共通機能マニュアル」内、「各種設定業務 操作方法 入出力レイアウト設定」をご参照ください。

ご注意

- ・ 本製品の一部または全部を弊社の書面による許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- ・ 本製品の内容・仕様は訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft、Windows10、Windows11、.NET Framework は 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

iTERAN／AE

Copyright© 富士通 Japan 株式会社 2025